

《学校教育目標》主体的に学び、社会とつながり、未来を創る力を育みます。



SAKAIGI JHS

境木中学校 学校だより 2026

令和 8 年 7 月 10 日



横浜市立境木中学校

校長 河野 新

〒244-0802 横浜市戸塚区平戸 3-48-2 TEL 045-822-8626 Fax 045-826-3826

七夕に込めた願い

校長 河野 新

7月に入りました。あっという間に夏休みを迎えようとしています。4月に入学・進級してから夏休みまでの約4か月間、皆さんは充実した日々を過ごすことができたでしょうか。それとも、少し物足りなさを感じているでしょうか。

さて、境木中学校では、同窓会長のご協力をいただき、毎年七夕の行事を行っています。今年度も、皆さんがそれぞれの思いや願いを短冊に書き、笹に飾りました。短冊には、「勉強ができますように」「部活動でもっと頑張りたいです」など、前向きな思いや願いがたくさん書かれていました。校長としていくつか目を通しましたが、とても良いことだと感じました。

皆さんが短冊に書いたように、物事を前向きにとらえることは、とても大切です。カナダの精神科医エリック・バーンは、「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」という言葉を残しています。短冊に書いた思いや願いは、まさにこの言葉につながるものだと思います。

人はどうしても、以前の自分や他人と比べてしまいがちです。それ自体にも意味はありますが、本当に大切なのは、これからの自分をどうしていくかということです。短冊に書いたことが実現したとき、きっと自分を誇らしく思えるはずです。その気持ちをぜひ大切にしてください。

また、7月は「社会を明るくする運動」の強調月間でもあります。皆さんはこの運動を知っているでしょうか。その趣旨は次の通りです。

「犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、新たな被害者も加害者も生まない、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。」(政府広報オンラインより)

この趣旨を読んで、皆さんは何を感じたでしょうか。私たちの社会には、さまざまな背景をもった人が暮らしています。中には、過去に過ちを犯した人もいます。しかし大切なのは、「新たな被害者も加害者も生まない、安全で安心な明るい社会を築く」ということです。

学校も同じです。失敗したり、過去に間違った行動をとってしまったたりする人もいます。けれども、自分自身を見つめ直し、これからどう生きていくかを考えながら、日々をしっかりと過ごしていくことが大切です。

皆さん一人ひとりが七夕の短冊に込めた思いや願いが実現することを、教職員一同心から願っています

